

美術館コレクション 110



きぬたにこうじ
絹谷幸二 (1943年～)

《涙するカトリヌ》

1987年 フレスコ・ストラップ

「あああ…うう…」という悲痛な声をあげ、号泣する女。水たまりや建物などさまざまなモチーフで埋め尽くされた顔には、むき出しの感情が込められ、人間を取り巻くあらゆる音が混然一体となって押し寄せてきます。現代を代表する洋画家として活躍する絹谷は、「生かされている喜びを、悲しみをこえて描いていきたい」と、エネルギーに満ちた作品を明るく躍動的な色彩で描き続けています。

問 美術館 (☎23-1636)

常設展で
展示中!
(2月14日まで)



刈谷市ホームタウンパートナー

TEAM刈谷の挑戦!

【バレーボール】

刈谷市の誇るトップスポーツチームの期待のムードメーカーを紹介します!

vol. 64

～ジェイテクトSTINGS～

ふじ なか ゆう と
藤中 優斗 (24)
【ポジション】アウトサイドヒッター



堅実なプレーでチームを支え、昨シーズンのリーグ優勝の原動力となった選手の一人。攻守のバランスに優れ、新人賞を獲得するなど今後が楽しみな選手です。若手選手らしい元気あふれるプレーと独特な笑いでチームを盛り上げるムードメーカーでもあります。普段の練習でも人一倍声を出してチームを鼓舞します。

愛知県内で試合がある際には会場へお越しいただき、藤中選手のハツラツとしたプレーをご覧ください。

【本人コメント】

いつもたくさんの応援ありがとうございます。現在私たちは、リーグ戦優勝に向けて日々奮闘しています。若手である私が、今後もチームを盛り上げていきます。

チャームポイントは「えくぼ」です。皆さんも、僕のえくぼにロックオン!

☆今後の出場予定試合

2020-21 V.LEAGUE DIVISION1 MEN 愛知

時 2月27日(土)・28日(日) 場 ウイングアリーナ刈谷

対戦相手 FC東京

歴史散歩 255



土井利勝書状

(個人蔵、歴史博物館寄託)
江戸幕府の年寄(老中)である土井利勝が豊後国臼杵(現在の大大分県臼杵市)藩主稲葉通に出した書状です。内容は、一通の御所徳川秀忠への目見えの時期の調整と一通からの進物の礼を述べたものです。土井利勝は刈谷藩土井家を含めた土井家の祖で、一説には刈谷城主水野信元の子ともとも言われています。徳川秀忠や家光のもとで年寄になり、幕府政治に多大な影響を与えました。一通の進物はばく大なものであり、また、利勝の嫡男松千代(のちの利隆)にも進物を贈っていました。利勝の権勢の大きさがうかがいしれます。この書状は、現在開催中の企画展「収蔵品展」受け継がれる刈谷の名品」に出品しています。

問 歴史博物館 (☎63-6100)

歴博かわら版

ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」はじめました!

ポケット学芸員とは、学芸員が展示物に付した解説文をスマートフォンで楽しむことができる無料アプリです。

利用手順

①アプリをダウンロード



▲App Store



▲Google Play

②利用したい施設で「刈谷市歴史博物館」を検索
③「リスト」を選ぶと、展示物に関連する情報を得ることができます。

現在は、2月14日(日)まで開催している収蔵品展の展示物をご覧ください。

刈谷城盛上げ隊が歴史博物館に参上!

時 2月28日(日) 11時30分～12時
場 歴史博物館エントランス
内 ミニゲーム、グリーティング



問 歴史博物館 (☎63-6100)